



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂
7丁目5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 寺本 充
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗
教に偏ることなく、小学校及び中学校にお
けるPTA活動を通じて、我が国における
社会教育及び家庭教育の充実に努めると
もに、家庭、学校、地域の連携を深め、こ
どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、
もって社会の発展に寄与する。

主な内容

- 1・2面
○平成28年度
次表彰式
○優良PTA紹介
3面
○国内研修
○全国大会
4・5面
○各ブロック研
究大会
6面
○平成28年熊
本地震義援金
報告
○楽しい子育て
三行詩
7面
○PTA推薦につ
いて
8面
○教職員定数削
減反対

平成28年度年次表彰式開催

活動の活性化けん引 優良PTAなどを表彰

11月18日(木)東京都千代田区のホテルニューオータニにて、平成28年度PTA年次表彰式が文部科学大臣 松野博一様、衆議院文教科学委員長永岡桂子様をはじめ、多数のご来賓をお迎えし盛大に開催された。今年度受賞したのは、文部科学大臣表彰131団体、日本PTA会長表彰団体125団体、個人表彰228人名、そして感謝状が5名に贈られた。また第38回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式も同時に行われ44団体が表彰された。

子どもたちのよりよい教育環境を目指し

式辞
公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 寺本 充



皆さん、こんにちは。本日は松野博一文部科学大臣のご臨席を賜りまして、この28年度のPTAの表彰式を執り行うことができました。松野大臣始め、ご来賓の皆様方に臨席賜ったことへ厚く御礼申し上げます。

本日ご出席頂いている皆様方、日ごろはPTA活動を通じて地域のご活動に格別のお力

本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局員用」を目安に配布しています。

添え、またご尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

PTAは、私たち大人が家庭・学校・地域でさらに学びを深めている社会教育の団体です。こうした活動は、子どもたちのため、そして学校教育を下の充実させようという思いで、長い歴史のなか脈々と受け継がれてきました。

日本PTAは2年後に創立70周年を迎えます。いつの時代も、全国の仲間と手を取り合い支えあってきました。5年数か月前の東日本大震災では、多くの皆様から被災した子どもたちに対してのご支援をいただきました。日本PTAは、子どもたちの教育環境を守るために何ができるか。そして今は、子どもたちの心のケアをどうしたらいいのか、そんな



思いで被災地の支援を続けています。また、熊本地震でも多くの方からのご支援、義援金をお預かりして、熊本県・熊本市・大分県の被災地にお渡しすることができました。そして先般の鳥取中部地震でも多くの仲間の支えが大変大きかったと伺っています。私たちは全国で繋がり、互いに助け合っているからこそ、現在も活動が続いています。

日本PTAは現在八つの関係省庁、40近い様々な団体・協議会などで、各単位PTAや地域の声を代弁し、橋渡しをさせていただいています。11月16日には、教職員定数の削減反対の要望書を、100人を超える国会議員、また

松野文部科学大臣をはじめとする文部科学省の関係部局等に直接お持ちをして、要望活動を行いました。学校現場は、子どもの数が少なくなるとから教員の数が足りない、という乱暴な話ではなく、支援の必要な子どもたち、さらに子どもたちがよりよく学べるように、その環境作りのためには先生が必要で、中央教育審議会の議論の中でも、家庭・学校・地域の協働が必要であり重要であるという答申が出ました。

私たちは、子どもたちが学ぶ学校現場で先生方だけにお任せするのではなく、私たちがどのような形で協働しながら子どもたちを育み、私たちがどのように学ばせていただくのか再構築する大変重要な時期にあります。その中心をなす教職員の削減というのは、教育現場が抱える現実とは真逆な話でした。要望書を手渡しさせていただいた国会議員の先生方も、それに呼応するかのようには、私たちの思いを受け止めて、活動を現在も続けていただいていると伺っています。



そのためのPTA活動であると思っております。

そして広報紙コンクールで受賞された皆さま、おめでとうございます。広報紙は、最近様々に情報化が進み、紙媒体での発行の是非についての議論も一部では聞かれます。なぜ広報紙が必要なのか。一例をあげますと、菊池桃子さんの発言はマスコミ、新聞等で様々な論調で書かれました。

菊池桃子さんの発言したすべの言葉を聞けば、また全文を見れば、主旨は「PTAは働くお母さん方が大変だ」というネガティブな話ではなく、そついった方が多い中でもPTAは必要であり、新たな時代の新たなPTAの在り方についての提言をいただいたのだ、と私たちは感じています。

祝辞

文部科学大臣
松野 博一 氏



本日、平成28年度 日本PTA全国協議会の年次表彰式がこのように盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。本日、栄えある賞を受賞された皆様におかれましては、永年にわたり、他の模範となる活動に努められ、PTA活動の振興に多大な貢献をされました。これまでの御功績に対し、深く敬意を表します。

我が国の将来を担う子供たちが、自分と自分以外の人のかけがえのない価値を認識しながら、お



学校・家庭・地域の架け橋に

「教育再生」を着実に実現していく上で重要かつ根本的な「学校・家庭・地域の役割分担の明確化と教育力の充実」と、「子供たちの自己肯定感が低い現状を改善するための環境づくり」の2つを新たなテーマとして、議論を開始しました。

日本の教育現場を取り巻く根本的な課題への対応に、全力で取り組んでまいりたいと思います。

皆様方におかれましては、日頃からPTA活動を通じて、学校、家庭、地域の架け橋として、子供たちの健全育成に御尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げますとともに、社会総掛かりによる「教育再生」に取り組みするため、引き続きのお力添えをお願いいたします。

結びに、本日お集まりの皆様方の御健勝を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

健全育成と福祉の増進に寄与を

祝辞

衆議院 文部科学委員長 永岡 桂子 氏



本日、全国各地から多数のPTA関係者をお迎えして、平成28年度の表彰式が開催されるにあたり、衆議院・文部科学委員長として、ひと言お祝いを申し上げます。まず初めに、先ほど表彰を受けられました方々が長年に渡りましてPTAの健全な発展と、青少年の成長に寄与してこられたことに対して、心から敬意を表したいと思います。教育

「子ども」のために思いを一つに

謝辞

受賞者代表 緒方 玲子 氏



熊本市PTA協議会で前年度まで会長をさせて頂いておりました緒方玲子氏です。

さて、本日は、多数のご来賓の皆様、臨席のもと、かくも盛大なしかも心温まる表彰式を挙げていただき、被表彰者を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

多くの仲間たち、お世話になった方々を代表して私を受け取ったのだと認識しております。ですから、それぞれの活動の場に帰りましたら、この喜びをしっかりと報告し分かち合い、明日の活動への励みとしたいと考えております。本日にありがとうございました。

は社会を動かしていく、いわばエンジンのような役割を担っており、国民ひとりひとりが幸せな人生を実現するための根幹を支えるものとして、国や社会の発展の基礎となるものであります。

には、国民ひとりひとりが教育の当事者となって、学校だけでなく、家庭や地域社会での教育の充実を図ることが喫緊の課題でございます。特に近年、複雑化・多様化している学校現場の課題に対応し、新しい時代の教育を実現するために、学校・家庭・地域社会が相互に連携、協働していくことにより、学校全体の総合力を一層高めていくことが不可欠でございます。皆様方PTAにおかれましては、学校、家庭そして地域社会の

三者の連携、協働の中心でありまして、今後とも子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、以て社会の発展に寄与する、この理念の実現に邁進されることをお願い申し上げます。



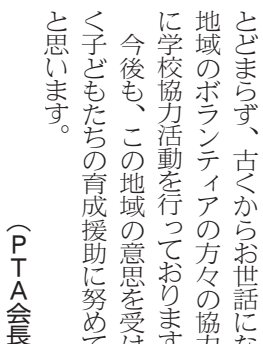
第38回全国小・中学校PTA広報紙コンクール受賞団体

優良PTAの活動紹介

優良PTA文部科学大臣表彰受賞

三郷市立八木郷小学校PTA

三郷市立八木郷小学校PTA会長の山崎治です。この度は文部科学大臣表彰をいただき、我々保護者をはじめ、学校教職員や、地域全体が大変喜んでおります。

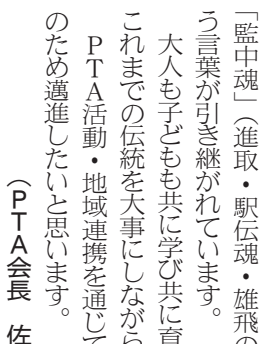


校整備や、資源回収、読み聞かせ、学習補助など、在校生PTAだけに

優良PTA全国協議会会長表彰 団体受賞

仙台市立将監中学校PTA

仙台市北部の緑豊かな住宅地の中に学校があります。一昨年、開校40年を迎え益々PTA・学校・地域連携の輪が広がっております。



生徒が多岐にわたる「coco活」(コミュニティ・コントリビューション・活動の略)愛らしいですよね。

日本PTA全国協議会会長表彰 個人受賞

愛媛県 村上 一郎 氏

この春に下の子どもが中学校を卒業し、長いようで短かったPTA活動を終えることになりました。長いようで短かったという12年間の活動が、毎朝の登校指導や学校行事へ参加すること、子どもたちや先生方、保護者の皆さんと関わり、多くのことを学びました。

最後に、PTAに対して色々な考えがあると思いますが、寺本会長のお言葉にもある「PTAをひとりの百歩より100人の一歩で」の気持ちを持ち、子どもたちのための活動を一致団結して行うことが、大きな目標の達成のために大事だと思います。オール日本で頑張りましょう。今回は本当にありがとうございました。

PTAは他団体との連携を図るとともに、行政との関わりの中で子どもたちや学校のための施策の実現に関わることができました。

そして、小学校の統廃合問題では、地域の拠り所であり、これまで子どもたちを見つめ育んできた学校がなくなるというところを通じて、学校がいかに大事かというところを気づかされました。



国内研修事業

めんそ〜れ渡嘉敷村!



日本PTA・(独)国立青少年教育振興機構・沖縄県渡嘉敷村の皆さんからなる準備委員会が本格始動しました。

渡嘉敷村での開催3年目となり、今までの経験を活かし、参加生徒がより渡嘉敷村の皆さんと触れ合い様々な経験を積めるよう、熱い議論を重ねています。

参加者は中学2年生という多感な時期に、渡嘉敷村の歴史や自然に触れ、また全国各地から集った仲間と寝食を共に過ごします。

ともに笑い・励ましあい・知恵を出し合い過ごす研修での経験が、参加生徒たちの目指す未来の一助となることを願ってやみません。実行委員会一同はそんな熱い思いで準備を進めています。

3月の実施を前に、本年度実行委員長を務める齋藤芳尚(埼玉県PTA連合会)、大呂延幸(鳥取県PTA協議会)、石川謙(一社) 沖縄県PTA連合会)は、10月25日に平敷昭人教育長ならびに沖縄県教育庁を表敬訪問しました。昨年度までのご協力に感謝するとともに、今年度の実施に



沖縄県教育委員会 平敷教育長を表敬訪問



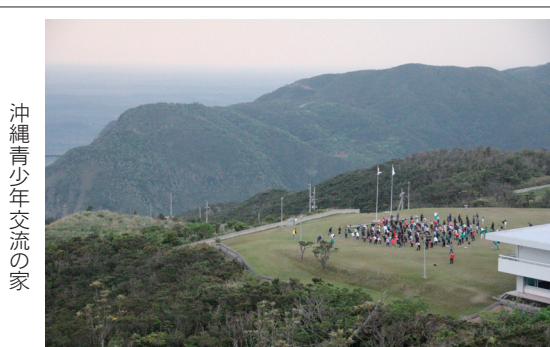
沖縄大学を表敬訪問

ついでに意義を説明しました。同日、糸満青年の家、沖縄大学・上地教授を表敬訪問し、昨年に続き今年度も協力をお願いをしました。沖縄大学では、27年度の研修に参加頂いた学生(各班のリーダー達)の、研修で成果や学びについて報告いただきました。今年度も教師を目指す学生たちが、リーダーとして研修に参加し、生徒たちと寝食を共にします。翌26日、渡嘉敷村へ渡り沖縄青少年交流の家の全面協力のもと、渡嘉敷村長・松本好勝氏を表敬訪問しました。

「別れの時の子供たちの言葉に毎年非常に感動する。渡嘉敷村としてもこの研修で役場の若い連中や青年団を教育してもらっている。また、島の子どもたちは本土の子供たちに触れ合つことが殆どない為、これからも毎年実施してほしい」という激励の言葉を頂きました。その後も渡嘉敷村幼小中学校、阿波連小学校を表敬訪問。



渡嘉敷村長・松本好勝氏を表敬訪問



沖縄青少年交流の家

第64回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会

第3分科会【学校教育】

地域とともに伸びゆく学校
～少子化で変わる学校教育とPTA活動のあり方～



基調講演者
大南 信也
会場
三好市池田総合体育館

第2分科会【家庭教育】

食育を通して健やかな子どもを
育てるPTA活動のあり方



基調講演者
浜内 千波
会場
あわぎんホール

第1分科会【組織運営】

PTAの組織づくりと広報活動に
ついて語り合おう



基調講演者
住友 紀人
会場
小松島市ミリカホール

特別第1分科会【日本PTA担当】

自然豊かな環境での
特色ある学校教育とPTA



基調講演者
水野 真紀
会場
鳴門市文化会館

第5分科会【地域連携】

地域・自然と共存する学校・PTA



基調講演者
横石 知二
会場
阿南市文化会館

第4分科会【人権教育】

未来につなげ
かけがえのない「いのち」



基調講演者
福永 宅司
会場
吉野川市鳴島公民館

特別第2分科会【文部科学省協力】

子どもを取り巻く課題の解決に向けて
～人と人との結びつきとコミュニケーション力～



基調講演者
箱山 智美
会場
あわぎんホール

初参加!楽しく有意義な
2日間の全国大会体験記
東京都公立中学校PTA協議会
鈴木 幸太郎

今回初めて第64回日本PTA全国研究大会「徳島うずしお大会」に参加させて頂き、見ると聞くと初めのことばかりで大変なしく有意義な2日間でしたので、この場をお借りしてご紹介させて頂きます。
初日の8月20日(土)には、7分科会に分かれて講演とパネルディスカッションが行われました。
参加させて頂いた第5分科会では、株式会社いろどり代表取締役の横石知二氏により、「葉っぱ」を商品として販売することにより事業を行う。今回全国大会に参加して、全国の皆さんのPTAのなかまが活動しており、日々の単Pでの活動もその一部であることを実感することができ、本当に良かったです。
最後になりましたが、運営に携わったみなさま、参加者のみなさま、大変たのしい2日間をありがとうございました!

日本PTAブロック研究大会

子どもは地域の宝、みんなの絆で、愛あふれる子育てを

第63回日本PTA北海道ブロック研究大会

十勝・帯広大会

○期日 10月8日・9日
○場所 帯広市 帯広市民文化ホール 他

「子どもは地域の宝、みんなの絆で、愛あふれる子育てを」で盛大に開催されました。1日目は市内の小中学校など7会場、2日目は市内の小中学校など2つの特別分科会が開催され、2日目は、帯広市民文化ホール大ホールで、全体会、記念講演、閉会行事が行われました。第1日目の各分科会では、それぞれのテーマに基づき、各

単Pや各地区の特色あるPTA活動の取り組みの発表があり、子どもが健やかに育つ環境づくり、食育について、PTAとしてどう行動していくのか、親子の絆や学校との連携、さらには地域のつながりの大切さなど、様々な視点から熱心な研究協議が行われました。

また、特別第一分科会「中学生討論会」では、「中学生サミット2016〜明日(みらい)は私たちがつくる〜」をテーマに7校14名の中学生による討論が行われ、特別第二分科会「地域で高める防災意識」では、家庭・学校・地域が連携した防災教育のあり方について研究協議が行われました。



最後に、来年度の小樽大会での再会を願いながら大会終了となりました。

第48回日本PTA関東ブロック研究大会

茨城大会

○期日 10月21・22日
○場所 ひたちなか市総合運動公園総合体育館 他

「歴史と未来が息づく常陸国から伝えたい願い 伝わる想い」をテーマに、第48回日本PTA関東ブロック研究大会が、茨城県日立市総合運動公園総合体育館で開催されました。参加して開催されました。第1日目は、8つの会場での「安全・安心」、「伝統文化」、「人権」、「組織運営」、「家庭教育力」、「地域連携」、「情報モラル」、「国際理解」の主要研究テーマに沿って、事例発表、活動発表、講演、講談、パネルディスカッション、グループワーク等を行い、PTA活動の推進と課題について話し合いました。多くの会員と話し合った工夫点や改善点、すばらしい取り組み等を今後の

PTA活動に生かしていくこと、また私たちが親は子どもたちへ願いや想いを贈る大切な役目があること、そして、その実現のために私たち一人ひとりがよりいっそう学び・努力することが必要であること考えさせられました。

第2日目の全体会では、4つの大会宣言の決議後、「深い学び」と思考体力」という演題で、東京大学先端科学技術センター教授、西成活裕氏による記念講演を実施しました。思考体力を育成し、長期的視野、全体最適の視野で、利他行動をすることを教育していくことが大切であるということを示唆していただきました。

最後に、次年度開催地の群馬県に大会旗を引き継ぎ、大会終了となりました。

伸びゆく心 未来を拓くたくましい子どもとともに考え ともに育もう

第48回日本PTA東北ブロック研究大会

弘前大会

○期日 9月10日・11日
○場所 弘前市民会館

歴史と文化が息づく街、弘前市に涼しげな風が吹き始めた9月、第48回日本PTA東北ブロック研究大会弘前大会、第52回青森県PTA研究大会弘前大会が盛大に開催されました。本大会には青森県知事



宮澤 崇史 先生

の三村申吾様、公益社団法人日本PTA全国協議会の寺本充会長様をはじめ、多くの来賓の皆様にご参集頂き、また東北各地から1900名の会員の皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

第1日目の分科会では市内5会場6分科会において、基調講演、「パネルディスカッション」が行われました。ある分科会では、フロアーの参加者と発表者等との心の距離を話



東北ブロック研究大会
五十嵐仙台市PTA協議会
議長は「来年の全国は東北6県みんな得意です。」と力強く宣言。それに応じた東北各県の会長たちが「ロッケンジャー」に扮して参加を呼びかけ

めため、ステージを作らず、椅子を円形に並べた会場もあり、参加者からは好評を得ていました。

また、どの分科会も笑いの中にも厳しく活発な意見交換が行われていました。

2日目の全体会では、元自転車プロロードレーサーの宮澤崇史氏に「逆行こそ成功への道」と題した記念講演をしていただきました。

また、次期開催地挨拶では、第65回日本PTA全国研究大会の開催地となる仙台市PTA協議会のアピールがありました。

2日間わたる学びは、子ども笑顔と未来のために「親力」を養う貴重な機会になりました。

本大会成功のために準備から、大会当日まで頑張り続けた実行委員会の皆さん、スタッフの皆さん、そして、ご協力いただきました関係機関、団体の皆さんに心から感謝申し上げます。

オール名古屋の手づくりのおもてなし

第72回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

名古屋大会

○期日 10月28日・29日
○場所 名古屋国際会議場「センチュリーホール」他6会場

「明日の子どもたちのために」NAGoyaかに奏でよう♪家庭・学校・地域のハーモニー」を大会テーマに、第72回日本PTA東海北陸ブロック研究大会名古屋大会が、東海北陸ブロックの6県1市



北川 和世
丸岡 久美子

から2730名を超す方が参加して開催されました。

1日目は名古屋市内6会場分科会を開催しました。

第1、第2分科会は「家庭教育」がテーマで、親子のコミュニケーションや地域との絆が深まる活動について議論を交わしました。

第3、第4分科会は「学校支援」のあり方について協議し、子どもたちのためにPTAと学校が連携して、学校を支援していくにはどうしたらよいかを考え合いました。



鈴木 明子氏
開会行事、表彰式のおと、プロフィールビデオの鈴木明子氏による「ひとこと」。

第5、第6分科会は「地域連携」のあり方で、地域を巻き込む活動について実践をもとに話し合いました。

どの分科会も、会員一人ひとりの考えを意思表示する参加型の活動を取り入れたことにより、積極的に話し合いに参加する会員の様子が見られました。

2日目は、名古屋国際会議場「センチュリーホール」を会場に全体会が開催されました。

開会行事、表彰式のおと、プロフィールビデオの鈴木明子氏による「ひとこと」。

少しずつ、「ひとこと」をテーマにした記念講演が行われました。ゆっくりでも壁にぶつかっても、挑戦していくことが人生にとって何よりも大切な言葉は、今後、私たちが子どもたちに何をすればよいのか、大切な指標をいただけました。

次期開催地、福井県での再会を誓いながら、2日間の大

ブロック研究会 (一覧)

第63回日本PTA北海道ブロック研究会 十勝・帯広大会	開催日時 10月8・9日	記念講演 長田 徹
スローガン	「子どもは地域の宝、みんなの絆で、愛あふれる子育てを」 ～飛び出せ夢へ 生命(いのち)を育む とかちの力～	
第48回日本PTA東北ブロック研究会 弘前大会	開催日時 9月10・11日	記念講演 宮澤 崇史
スローガン	「伸びゆく心 未来を拓くたくましい子どもともに考え ともに育もう」 ～活かそう大人の知恵と体験を育てよう子どもの心と体～	
第48回日本PTA関東ブロック研究会 茨城大会	開催日時 10月21・22日	記念講演 西成 活裕
スローガン	歴史と未来が息づく常陸国から 伝えたい願い 伝わる想い ～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～	
第72回日本PTA東海北陸ブロック研究会 名古屋大会	開催日時 10月28日・29日	記念講演 鈴木 明子
スローガン	「明日の子どもたちのために」 ～NaGoYaかに奏でよう♪家庭・学校・地域のハーモニー～	
第42回日本PTA近畿ブロック研究会 奈良県大会	開催日時 11月8日	記念講演 山本 シュウ
スローガン	「さかせよう大きな笑顔の花 ひろげよう笑顔の和」 ～大人の笑顔で子どもも笑顔～	
第46回日本PTA中国ブロック研究会 とっとり大会	開催日時 11月12日	記念講演 山本 シュウ
スローガン	「みんな輝け☆つながれ未来」 ～心のふるさと育てよう～	
第61回日本PTA九州ブロック研究会 みやざき大会	開催日時 10月29日・30日	記念講演 花田 景子
スローガン	「未来の宝!みんなで育て、みんなで育つ」 ～人がつながる、想いがつながる、子どもたちの未来へつながる～	

大和(やまと)からの発進

第42回日本PTA近畿ブロック研究会
奈良県大会

奈良県大会

○期日 11月8日
○場所 ジェイテクトアリーナ奈良 他

まほろばの地糧原で、大和からの発進「さかせよう大きな笑顔の花 ひろげよう笑顔の和」大人の笑顔で子どもも笑顔」といふスローガンのもと、近畿各地より1800名のPTA関係者が集い成功裡に終わりました。
午前中に市内各地で6つの分科会を開催しました。特別分科会では小野田正利さんをコーディネーターに迎え、モンス

タレ・アレント」といふ言葉を使つこと保護者と教師の間に溝ができ、不必要な対立やいさかいを持ち込んでしまつた。「親はモンスター・ペアレントじゃない」という立場から、どうすれば保護者と教師が子どものために協力し合えるのかを様々な立場のパネリストを交えパネルディスカッションで討議しました。
午後からはオープニング、



全体会と記念講演を開催しました。世界で活躍されている和太鼓「倭」による、血沸き肉躍る迫力のライブ・パフォーマンスで参加者をお迎えし、トレードマークであるレモンのかぶり物をつけた山本シュウさんによる記念講演は、ジェスチャーたっぷりに舞台狭しと動き回りながらの楽しい話で会場内は笑いが絶えませんでした。

「ふるさと」とのつながりが大切

第46回日本PTA中国ブロック研究会
とっとり大会

○期日 11月12日
○場所 とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取県立県民文化会館)

本大会は鳥取県中部地震から三週間、全国各地の日Pの仲間からたくさんのご支援や励ましのお言葉を頂く中での開催となりました。皆様に心よりお礼申し上げます。本大会にありがとつぎいきました。さて、「みんな輝け☆つながれ未来!心のふるさと育てよう」の大会スローガンのもと、第46回日本PTA中国ブロック研究会とっとり大会が、唱歌「ふるさと」にゆかりの

未来の宝!みんなで育て、みんなで育つ

第61回日本PTA九州ブロック研究会
みやざき大会

○期日 10月21・22日
○場所 宮崎市シーガイアコンベンションセンター 他10会場

「未来の宝!みんなで育て、みんなで育つ」人がつながる、想いがつながる、子どもたちの未来へつながる」



花田 景子氏

「第61回日本PTA九州ブロック研究会みやざき大会」は、九州各地に約8000人を超える会員の方々に集まりいただき、盛会のうちに終了することができました。心より御礼申し上げます。次世代を担う子どもたちは、未来の宝です。心豊かたくまじい子どもたちを育てるためには、地域に根ざした子育ての輪が必要です。「みんなで育て」とは、子どもたちを中心に据え

単小の実践発表では伝統あるプールを切り所としてPTAと地域が一つになって子どもたちを支えるつながりを、東中の発表ではPTAと地域が中学校区を一つのコミュニティとして捉え、校区内の三つの小学校と一体となって統一スローガンを掲げ、地域全体で子どもたちを見守る活動のつながりを、幼小中一貫校の福部未来学園の発表では地域の先人たちがPTAとともに未来の子どもたちへ熱い想いを託し一丸となって活動を展開している、過去から未来への時間軸のつながりを発表して頂き、地域全体で子どもを育む、その要となるのがPTAであることを再認識致しました。更に記念講演では山本シュウさんを講師に迎え「つながる



これらのごことを踏まえ、愛する子どもたちのために、未来を託す子どもたちのために、PTAとして何をすべきなのかを考え、足元から、毎日の生活の中から実践されていることがよくわかりました。みやざき大会の成果が、九州各県・政令指定都市、各学校のPTA活動に活かされることを強く期待しています。結びに、本研究大会の開催にあたり、御指導御助言をいただきました公益社団法人日本PTA全国協議会や九州ブロックPTA協議会をはじめ、宮崎県、宮崎県教育委員会等大会終了のご挨拶とさせていただきます。

う!家庭・学校・地域でつくる心のふるさと」の演題で、人とのつながりの大切さをお話し頂きました。コミュニケーションの五条、理解のカタチなど、その日から役立つ具体的な手法も教えて頂きながら、お笑いも感動で包まれた素晴らしい講演で幕を閉じました。大会の開催に携わって頂いたすべての皆様に心より感謝申し上げます。



山本 シュウ氏

平成28年熊本地震 義援金報告

平成28年4月14日に発生した熊本地震は、震源とする最大震度7の地震により、熊本県・大分県で非常に大きな被害がでました。

また、家屋の倒壊などにより、多くの方が現在も厳しい避難生活をされるなど、痛みしいかぎりです。

被災地にある熊本県PTA連合会には、震災直後から沢山の声が届きました。と同時に、全国の各単位PTAの方々から募金への声が多く寄せられました。

当時熊本県PTA連合会では、事務局も甚大な被害を受けていたため、対応が不可能な状態にあり、緊急要請を受けて日本PTAとして「募金口座」を開きました。

全国より続々と義援金が届き、5月11日に400万円、6月8日に104,204円、8月4日にお送りしました。その後も募金は届けられ、熊本県PTA連合会へお送りした募金の総額は139,650円(11月30日現在)となります。

現在)となります。

皆さまの温かいお気持ちに感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

お寄せ頂いた善意の募金については、熊本県PTA連合会・熊本県PTA協議会・大分県PTA連合会・被害の大きさを考慮し分配され、この災害で被災された子どもたちとPTAの仲間たちを支援するため活用されています。

熊本市PTA協議会義援金報告 会長 坂本 隆生

この度の地震に際しましては、被災地へいち早くお越しくございました上に、全国の加入団体にお声掛け頂き、心のこもった多額の義援金をお届けくださりまして、誠にありがとうございます。会員5万4千人を代表して、心より感謝申し上げます。

さて、地震から7ヶ月半が過ぎ、復旧・復興の進んだ箇所が徐々に増えてまいりましたが、子どもたちの心のケアをはじめ、学校環境の整備やPTA活動の復活・活性化等に向け、今後さらに頑張ろうと声を掛け合っているところでございます。

つきましては、この尊い御志を有効に活用させて頂くべく、下記のような用途を決め実動に入っておりますことを謹んでご報告させていただきます。どうぞご確認くださいませ。

記

※ これまでに頂戴した義援金 (県P:市P:大分県P = 6 : 3 : 1で分配) 合計約 4,175万円

○第1次 32,460,316円 ○第2次 9,293,640円 計約 3,107万円

※ 執行済及び執行予定使途金 計約 3,107万円

1 単位PTAへの活動助成

○全単Pへの助成・・・10万円×138単P+150円×会員数(約54000人) =2,190万円 (市内全ての学校が被災。会費不徴収単Pもあり、一律に助成した)

→いずれ、使途内容を調査予定

○申請単Pへの審査承認後助成・・・上限10万円を約50単Pへ =500万円

(「復興SP(サポートPTA)プラン」として、震災復興につながる諸活動助成)

→活動例 ①防災教室開催 ②復興フェスタ開催(講師招聘費用)

③バルーンフェスタ開催(子どもたちに夢を：熱気球を飛ばす)

2 5つの区Pへ一律の活動助成

○50万円×5区P =250万円

(今年度、区P会費不徴収の区もあり、区全体への諸活動支援として)

3 被災事務局修繕の助成

○破損備品等購入助成：30万円、移転に伴う諸経費助成：50万円 =80万円

4 単位PTA活性化・活動支援(書籍の購入他) =87万円

※ 現時点での残金(今後さらに検討し、有効活用予定) 計約 1,068万円

大分県PTA連合会義援金報告 会長 疋田 啓二

熊本・大分地震へ全国の皆さまより、日本PTA全国協議会を通し多大なご支援、ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

これまでに頂戴した義援金
・日本PTAより 1,391万
・各地PTAより 150万 総額 約1,541万円

大分県には、16の郡市PTA連合会(育友会)があります。大分県PTA連合会では、大分県災害対策室の発表を元に教育関係の被災額を参考に該当する各郡市PTA連合会に配分させていただきました。

義援金の使途について
・各郡市連合会に1,541万円
(由布市約39%、別府市約18%、日田市約20%、その他7連合会約23%)

各市P連合会(育)では、
・罹災証明書にての見舞金 600万
・単位PTAへ配分し子どもたちへの支援 600万
・学校と連携しての活動支援、行政と連携しての復興支援 300万

全国の皆さまから支援頂き、大分県全体の会員、子どもたちにはPTAの仲間が募金活動等で支援して頂いた大切な義援金と伝えています。重ね重ねになりますが、全国皆さまの活動に心よりお礼申し上げます。

熊本県PTA連合会義援金報告 会長 中村 慶治

1 現在までの義援金額等(12月5日現在)

ア) 日P経由分6,492万円(6月)+1,800万円(8月)+75万円(9~11月)

イ) ベルマーク財団より約300万円(益城町・阿蘇市への給食支援として)

ウ) 九Pより50万円(益城町・阿蘇市への給食支援として)(現物支給)

エ) 大塚製薬より約100万円(益城町・阿蘇市への給食支援として)(現物支給)

オ) その他、各地のPTAより直接振込 約2,000万円

総額 約10,800万円

2 現段階までに配布した義援金

(※被災地域や学校とは、罹災証明有りの会員が1割を超えている学校とする)

①保護者が死亡された生徒への見舞金 1件 100万円

②被災児童生徒及び学校に対する支援 1,020万円

・被災地域の学校に対する支援(図書購入費用など) 1校10万円×102校へ配布

③被災地域の単位PTA・郡市PTAの活動支援

・心のケアなどに対する講演会 給食支援、炊き出しなどの食材費支援等 1件40万円限度で25件程度、郡市Pを通じて支援 1,000万円

・郡市PTA会費、単位PTA会費などの補填による保護者の経済的負担軽減 被災地域郡市PTA5カ所へ 2,200万円

④県内全体のPTA活動活性化による熊本の未来づくり 2,182万円

各郡市PTAの活動支援、イベント等での活性化支援 分担金減免による経済的負担の軽減

⑤益城町・阿蘇市への給食支援 300万円

被災直後、簡易給食だった両市町の学校へ栄養補助食品の支給を行った。

3 今後、義援金を活用する方向で検討している金額

①給食センターが被災し、立て替えまで2年を要する益城町の児童生徒 3000人分の給食支援として 約1,800万円

楽しい子育て全国キャンペーン三行詩

9月6日、日本PTA会議室において、有識者による楽しい子育て全国キャンペーン三行詩の最終審査が行われ、入賞作品が決定しました。今年度より日本PTAの単独主催となり、作品募集時期などに大きな変更が生じましたが、全国より約10万7千もの作品が寄せられました。各地方協議会で第一次審査を通した818作品は、第2次、第3次審査、そして最終審査を経て、各

賞受賞の荣誉に輝きました。表彰式は、12月24日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室にて盛大に執り行われます。また、各優秀作品に漫画家青沼貴子先生のイラストが添えられた2017年度版フアミリーカレンダーは現在好評発売中です。

小学生の部

文部科学大臣賞 柳通 陽来
厚生労働大臣賞 黒 拓真
日本PTA全国協議会 会長賞 阿部 愛永
早寝早起き朝ごはん全国協議会 会長賞 齊藤 蒼
特別賞 川本 蒼依
佐野 海斗

一般の部

文部科学大臣賞 安田 綾
厚生労働大臣賞 谷内 浩
日本PTA全国協議会 会長賞 竹原 麻衣
早寝早起き朝ごはん全国協議会 会長賞 原田 詩

中学生の部

文部科学大臣賞 石井 優斗
厚生労働大臣賞 森平 麗美
日本PTA全国協議会 会長賞 小林 萌音
早寝早起き朝ごはん全国協議会 会長賞 高橋 優輝
特別賞 濱田 佳奈

「日本PTA推薦」について

日本PTAが推薦する物品・事業を紹介します

日本PTAでは、児童・生徒等の学校教育、家庭生活上価値が高く、教育的配慮が十分に認められる優良物品について、また広く利用促進普及させることが適当と認められる事業を協賛し、また物品を推薦しています。1〜2ヶ月に1回程度の頻度で審査委員会による審査を行い、「日本PTAが推薦すべき事業・物品」を決定しています。

推薦期間は1年間。11月22日現在推薦を受けている商品は表の通りです。また、推薦については物品・事業の他に、映画の審査も行っています。

日P推薦映画のご紹介

特別推薦

『校庭に東風吹いて』

子どもたちの生きる力を信じ、私たちはどう生き、教育にどう取り組むのか。

映画「校庭に東風吹いて」は、場面緘黙症の心の悲しみを抱えた少女、貧困から様々な問題を引き起こす少年の絶望と苦しみなど子ども達の困難に寄り添い、子どもと共に生き、子どもへの愛情を貫いた教師の感動の物語です。

《ストーリー》
三木知世は、転勤で小学3年のミチルのクラスを担当す

る。ミチルは、家では少し話せるのに学校では話せない、一人でトイレにいけず、一人で給食を食べられない、歌えない、絵を描かない「場面緘黙症」の疾患を持つ。知世は、共感と愛情をもって接する。同じクラスには、離婚した母親の理恵と純平は貧しい生活を送り、問題行動の多い安



川純平がいる。ある日、教室に飛び込んで来た青いインコを巡ってミチルと純平は幼い友情を芽生えさせる。様々な問題に奔走する知世は、子どもたちの「涙を希望」に変えることができるのだろうか。

製作：ゴーゴージャピュアル
配給：ゴーゴージャピュアル
企画/映画「校庭に東風吹いて」配給委員会

特別推薦

『この世界の片隅に』

昭和20年、広島・呉
わたしはここで生きている



©この史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

《ストーリー》
18歳のすずさんに、突然縁談がもちあがる。良いも悪いも決められないまま話は進み、1944(昭和19)年2月、すずさんは呉へとお嫁にやってくる。呉はそのころ日本海軍の大拠点で、軍港の街として栄え、世界最大の戦艦と謳われた「大和」も呉を母港としていた。見知らぬ土地で、海軍勤務

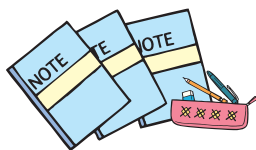
の文官・北條周作の妻となつたすずさんの日々が始まった。1945(昭和20)年3月、呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すずさんが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日が続く。そして、昭和20年の夏がやってくる。製作：「この世界の片隅に」製作委員会、配給：東京テアトル

虚偽の記載商品にご注意下さい!

実際は推薦をされていないにも関わらず「日本PTA推薦」と騙っている商品があるという報告が届いています。現在、日本PTAが推薦しているものは右図の表の商品が全てであり、推薦期間は決定から1年間です。

推薦期限が過ぎたもの・過去に推薦を受けた際の

記載が残っているものもありますが、一切推薦を受けていない商品でも表示されている場合があります。その際、ご注意ください。そういった虚偽の記載をしている商品(物品に限りません)がございましたら、日本PTAまで一報頂きます様お願い申し上げます。



物品名	会社名	決定期間
学研まんがでよくわかるシリーズ「サイバーセキュリティのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.1.1~2016.12.31
GPS防犯ブザー付きケータイ「mamorino3(マモリーノスリー)」	KDDI株式会社	2016.1.1~2016.12.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「薬剤師のひみつ」	株式会社学研プラス	2016.1.1~2016.12.31
まんが社会見学シリーズ11「大研究!すごいぞ!インスタントラーメン」	株式会社講談社ビーシー	2016.2.1~2017.1.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「はたらく機械レンタルのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.2.1~2017.1.31
学童用筆入れ	クツワ株式会社	2016.2.1~2017.1.31
子ども防犯ニュース	株式会社少年写真新聞社	2016.2.1~2017.1.31
ドコッチ01	株式会社NTTドコモ	2016.2.1~2017.1.31
月刊誌「ちゃぐりん」	(一社)家の光協会	2016.2.1~2017.1.31
みまもりGPS Softbank 201Z	ソフトバンク株式会社	2016.2.1~2017.1.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「ビタミン剤のひみつ」	株式会社学研プラス	2016.3.1~2017.2.29
学研まんがでよくわかるシリーズ「食物アレルギーのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.3.1~2017.2.29
学研まんがでよくわかるシリーズ「家電量販店のひみつ」	株式会社学研プラス	2016.3.1~2017.2.29
学研まんがでよくわかるシリーズ「梅パワーのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.3.1~2017.2.29
エスパー学生服上下	エクセル株式会社	2016.3.1~2017.2.29
ジャポニカ学習帳シリーズ(ジャポニカ、イラスト、フレンド、キャラクター学習帳、英習罫)	ショウワノート株式会社	2016.3.1~2017.2.29
InterSafe WebFilter(フィルタリングソフト及び関連フィルタリングサービスの提供)	アルプスシステムインテグレーション株式会社	2016.3.1~2017.2.29
学研まんがでよくわかるシリーズ「下水道のひみつ」	株式会社学研プラス	2016.4.1~2017.3.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「ベアリングのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.4.1~2017.3.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「船員さんのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.4.1~2017.3.31
アキュービュシリーズ(ディファイン除く)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー	2016.4.1~2017.3.31
Yahoo!あんしんねっと	ヤフー株式会社	2016.4.1~2017.3.31
傷害保険(こども総合保険、ベーシック傷害保険等)	AIU損害保険株式会社	2016.4.1~2017.3.31
ステンレスボトル9点	ピーコック魔法瓶工業株式会社	2016.4.1~2017.3.31
LED照明器具(LEDペンダント、LEDシーリングライト、LEDデスクライト)	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	2016.5.1~2017.4.30
学研まんがでよくわかるシリーズ「讃岐うどんのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.6.1~2017.5.31
みまもりケータイ3	ソフトバンクモバイル株式会社	2016.6.1~2017.5.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「石けんのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.7.1~2017.6.30
LED電球「光色切替タイプ」(E26口金、E17口金)	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	2016.7.1~2017.6.30
ウイルスバスターシリーズ	トレンドマイクロ株式会社	2016.7.1~2017.6.30
i-フィルター/i-FILTER	デジタルアーツ株式会社	2016.7.1~2017.6.30
NetNannyインターネットフィルタリング	AOSテクノロジー株式会社	2016.7.1~2017.6.30
男女学生服・学童服	東レ株式会社	2016.7.1~2017.6.30
学童ノート・コンパス・鉛筆キャップ・のり・下敷き・鉛筆削り・消しゴム・はさみ・定規・筆入れ・鉛筆・彫刻刀 全12品	サンスター文具株式会社	2016.7.1~2017.6.30
学研まんがでよくわかるシリーズ「耳と補聴器のひみつ」	株式会社学研プラス	2016.8.1~2017.7.31
文春まんが 読みとくシリーズ「鉄道会社ここが知りたい」	株式会社文藝春秋社	2016.8.1~2017.7.31
学研まんがでよくわかるシリーズ「歯ブラシづくりのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.9.1~2017.8.31
JESシューズ	JES日本教育シューズ協議会	2016.9.1~2017.8.31
キッズケータイ HW-01G	株式会社NTTドコモ	2016.9.1~2017.8.31
ベルマーク付き生命保険	ジブラルタ生命保険株式会社	2016.9.1~2017.8.31
えでゅけっと(学校法人向けインターネット接続サービス)	株式会社NTTぷらら	2016.10.1~2017.9.30
電動アシスト自転車	パナソニックサイクルテック株式会社	2016.10.1~2017.9.30
学研まんがでよくわかるシリーズ「ぶつからないクルマのひみつ」	株式会社学研プラス	2016.11.1~2017.10.31
Atermシリーズ こども安心ネットタイマー	NEVプラットフォームズ株式会社	2016.11.1~2017.10.31

公益社団法人日本PTA全国協議会は、子どもたちの豊かな学びの確保の観点から

教職員定数削減に反対します

公益社団法人日本PTA全国協議会は、青少年の健全育成を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、教職員定数削減に反対します。子どもの数が減っているからと教職員定数を削減すれば、少人数教育や特別な支援が必要な子どもたちへの対応等きめ細かな取組ができなくなり、子どもたちの教育環境が悪化することは明らかです。

公益社団法人日本PTA全国協議会としては、青少年の健全育成を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、教職員数削減ありきで議論されている状況を憂慮し、教職員定数の削減に反対する緊急要望について決議しました。

教職員定数の削減に反対する緊急要望書

平成二十八年十一月十六日

公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 寺本 充

公益社団法人日本PTA全国協議会は、都道府県・指定都市六十四協議会を支える保護者と教職員で構成する責任ある全国組織として、子どもたちの健全な育成と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実などを目的に、日々積極的に活動しております。

子どもたちの健やかな成長を図るためには、家庭・学校・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、連携を深めていくことが重要です。安倍総理は内閣の最大の目標として「一億総活躍社会の実現」を掲げられました。この「一億総活躍社会の実現」を図るためには、次代を担う子どもたちの豊かな学びを支える学校教育環境の充実が必要不可欠です。

安倍内閣がこの大きな目標に取り組んでおられる中、国の財政制度等審議会において、昨年に引き続き教職員定数を削減すべきとの意見が出されました。さらに、障害による困難を克服し自立を目指すものである特別支援教育について、ペーパーテストの結果だけで効果の有無を測ろうとするような主張もされています。私たちは、現に特別支援教育を受けている子どもたち及び保護者・教職員など関係者の思いや日々の努力に反映されない今回の措置に対し、強い憤りを覚えると同時に、このような学校現場の実情に合わない教職員定数の削減ありきの無責任な議論がなされていることに対し、極めて憂慮しております。

子どもたちは、育ち学ぶ場所を自ら選ぶことは出来ません。子どもたちが全国どこにおいても一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、財政状況に左右されることなく安定的に学ぶ環境を確保・充実し、子どもたちの未来に責任を持つことは、我々大人、そして国の責務であります。

学校において子どもたちの豊かな学びを実現するには、実際に運営を担う教職員の質の向上とともに教職員の体制の充実が極めて重要です。現状の学校教育現場は、他国に比べて職務の幅が広く、勤務時間も長い教職員の負担で成り立っており、教職員の数は現在でも十分ではありません。教育格差、いじめ・不登校、特別な配慮を必要とする児童生徒の増加など、学校が抱えている課題はますます複雑化・困難化・多様化しています。

もし教職員定数を削減すれば、このような課題に対応する取組ができなくなり、子どもたちの教育環境が悪化することは明らかです。公益社団法人日本PTA全国協議会としては、子どもたちの健やかな成長を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、定数削減ありきで議論されている状況を深く憂慮し、教職員定数の削減に反対する緊急要望について決議しました。

次代を担うすべての子どもたちに社会で活躍する力を育むため、全国六十四協議会の会長の総意をもって教職員定数の削減に断固反対し、教職員体制の更なる改善など教育環境の充実を強く要望いたします。

在庫が残りわずかです。ご注文はお早めに!

2017

ファミリーカレンダー

笑顔の家族365日

家族への大切なメッセージが書き込める

PTA・学校行事予定シール付き

お申し込みは日本PTA全国協議会ホームページから 価格：880円(税込)

